

親子で深める夏時間

～読書感想文講座～

日時：令和5年7月22日（土）10時～12時
場所：嘉川地域交流センター
講師：前田 真奈美 氏（下関市立本村小学校校長）
受講生：大人 16人



親子で共有できる読書の楽しみ方や、学校では教えてもらえないこの講座ならではの読書感想文の書き方やコツを教えてくださいました。読書感想文は子どもだけのものではなく、親子で楽しむものであること。読書は脳の形成に深いかかわりがあり、学力にも影響を及ぼすこと。そして今年度の課題図書についての先生の軽快なブックトーク・・・と2時間があっという間に過ぎていきました。親子のブックコミュニケーションの大切さ、読書の魅力をしっかり伝えていただきました。

1 しっちゃん？「親子で読書」がああの名作を生んだよ！



温かいあの家庭の中の何気ないワンシーンがこの映画を観る人の心を和ませている。
となりのトトロ エンドロールシーンでお母さんが読み聞かせしてるのはなんと・・・
「トトロ」はある絵本に出てくる鬼の名前を言い間違えてしまったことから生まれたのです！

2 しっちゃん？読書は学力向上につながるよ！



家にある本の数が多い児童ほど教科の平均正答率が高い

おすすめ図書

「読書がたくましい脳をつくる」

著／川島隆太 くもん出版

読書習慣で脳に高速道路ができる！

長時間読書を続けることで、前頭葉と側頭葉の間に電気が通りやすくてよく働く、よい脳が作られる。



3 しっちょる？読書には発達段階があるよ！

読書には1つの川と2つの山という発達段階がある



一つの川(小学校低学年まで)

話し言葉 ≠ 書き言葉
書き言葉を耳から入れる → 読み聞かせ

書き言葉を耳から入れることで
文章を読む能力が高くなる

読み聞かせの重要性



家庭教育の重要性



一つの山(小学校高学年)

- ・『ろり』(小学校低学年に大人気のかいけつ『ろり』の壁・『ろり』の面白さでは満足できなくなる
 - ・この作者が書くほかの本を読んでみる。
 - ・自分から進んで読む本を楽しむ
- 読書は子ども一人のものではない
親子で読書を通してのコミュニケーション！



小学校までにこの一つの川と一つの山を越えると・・・

中学高校に入ると

大きな山にぶつかる(考えるために読む山)

本から離れてしまう時期が来る(部活動、受験、スマホ・・・)

これを超えるためには

先生の息子さんのご経験から

ミエの読書

尊敬する人が読む本を読む
憧れのアイツが読んでいる本を読んでみる
読んでる自分を見てもらおう(他人からの評価)
(カッコイイと思われたい)



読書の自立
深みのある人生
知的職業に就く
子どもに本を伝える

※考えるために読む山・越えるのは大人になってからでも遅くはない！！

4 しっちゃん？コツがわかれば読書感想文は書けるよ！

1.本を選ぶ

- ・感想文は自分が面白いと思う本を！
- ・感想や意見を書きやすいものがよい。
- ・自分の経験とリンクしているものは書きやすい。



令和5年度の課題図書

- ☆「共生」「自分らしさ」「多様性」「ジェンダーレス」「自己肯定感」がテーマのものが増えている。
- ☆令和の子ども姿そのものを描いているものが多く、わかりやすい。
- ☆大人も楽しめる。

2.本を読む

- ・読んだ感想をすぐに書くのではなく、家族で感想を語り合う。（家族で同じ本を読む）
- ・気になったところを付箋に書いておく。文章の構成が大事。
- ・自分で書き上げるのは大事だけど、子どもの感想を親が聞き出す。親子コミュニケーション

3.感想文を書く

- あらすじ
- 感想
- 書き出し
- まとめ

「感想」の書き方

- ・なぜそう思ったか。
- ・どんな場面からそう思ったか
- ・自分だったら・・・
- ・なぜなら・たとえば・もしも・だから・を使う
- ・言葉の言い換え

(例) 悲しかった→かわいそうでたまりませんでした。
とても切ない気持ちになりました。
心が痛みました。
涙が止まりませんでした。等

書き出し

- ・読んだきっかけから
- ・本の紹介
- ・作者関連から
- ・感想から

まとめ

- ・本の感想で終わる
- ・作者の考えや本のテーマをまとめる。
- ・もしも～だったらで終わる
- ・本をきっかけに考えたことや反省、目標を書く。

書く量の配分を決める

書き出し・・・5行
あらすじ・・・10行
感想・・・10行
自分の体験など・・・25行
まとめ・・・10行

さらにレベルアップしたいときは
「私の読書」(山口県学校図書館協議会)を参考に！

受講者の皆様のご感想を一部ご紹介します

- ★夏休みが始まってすぐの講座で内容がとても時期にあっていてよかったです。
明日（今日）からの親子時間を大切にしよう！と子どもの笑顔になる瞬間が目に浮かび、親子の夏時間が愛おしく思えてきました。
感想文の書き方に合わせてコミュニケーションの大切さも学ばせていただきました。
- ★読書感想文へのハードルがぐっと下がりました。昨年初めて読書感想文に取り組みましたが、書き方の本を読んだりインターネットでノウハウを集めたりしても思ったように上手に書けず、親子で苦しい思いをしました。今日先生のお話を聞かせていただいてもっと肩の力をぬいて気楽に楽しむ気持ちで取り組みそうです。
- ★とても引き込まれる内容でした。簡潔にわかりやすくポイントで示してくださっており、ぜひ実践してみたいですし、本もすべて読みたくなりました。有意義な時間でした。
- ★本の良さ、読み聞かせの良さから読書感想文のコツまで、目からウロコでとてもドキドキする講座を体験できました。子どもとの夏休みの宿題がとても楽しみになりました。
- ★読書感想文が苦手な親です。子どもに教え方がわからなかったのですが大変勉強になりました。家族の感想を盛り込むというのは目からうろこでした。年齢を考えてこれは幼すぎると否定しないで、いろいろ自由に手に取った本と一緒に読んでみようと思います。

